

乳幼児保育計画に対する基礎資料の研究（その一）

江東橋保育園

東京都庁

愛育研究所

鈴木

秋田

平井

木と

田美

井信

く

子

義

「基本的習慣の早期樹立について」

幼児が毎日繰り返して行う生活の営みが一つの行動の型を作り出し、それがやがて習慣となり私達一生の生活の型の基盤となることを考える時乳幼児の習慣のもつ意義は誠に大きいと云える。

中でも基本的習慣を早く正しく身につけることは人生のスタートに立つ子供にとつて極めて大切である。勿論、家庭においても基本的習慣の自立が早く出来ることは望ましいことであるが特に、乳児院や保育所のように低年齢の子供を集団的に保育することがその存在理由の重要な要素となつてゐる。施設では早期よりよい生活習慣を身につけることは非常に大きい意味がある。

之は単に保育者の手数が省けると云う便宜的な意味を指すものではなく、子供自身にとつては自発的な行動が出来、独立心を養い、自分のことは自分でする責任感を培かう好ましい発達をすることが出来ることを意味するからである。又、乳児院や保育所の集団的な

生活の中で人間生活の最も土台となるものを学習することは社会生活に適應できる能力の大切なものを身につけることであり、又この基本的習慣の自立によつて小さい子供なりに社会生活に入つていくための準備が整えられることも意味するからである。

このように考えると基本的習慣とは社会生活に適應するための第一段階を経験することであり、しかも乳幼児が正しい発達をするための最も土台となることを指すことになる。そこで私達は三才未満の子供の保育計画を考える際、その最も根本的であり重要な要素として基本的習慣の正しいしかも早期樹立について問題を探り上げる必要を痛感したわけである。愛育会の平井先生を中心とした三人で別表のような基本的習慣に関する七五項目の問題を複製し、大略、意志の発生、試行、完成の三段階に問題を分類して之を都内公立保育所、一〇ヶ所に依頼して比較的長期間（六ヶ月以上の保育期間を有するもの）保育した三才未満児、六六名について各項目別に初発の年齢を記載してもらつた。

A、食餌について

匙の使用は、既に一二ヶ月に於て自分で使おうとするものが一〇例（一五％）及び自立への意志が表われている。一三ヶ月になるとこぼすが大体一人で使える者が二名あり、殆んどこぼさずに使う者は一四ヶ月に一名、一六ヶ月、一七ヶ月、一八ヶ月に一名づつとなつてゐる。即ち匙の使用は、既に一年以前から始めてもよく、完成の目標を大体一年半以前、早い場合は一年二ヶ月に持つことが出来る。この成績はフエントン氏、山下俊郎先生の報告より三〇六ヶ月早いことになる。一年二ヶ月で完成したのは男児であるが、生後一年一ヶ月で入園し、その後一週間で匙の使用を初めた。子供用の机と椅子を用い、盆にのせて食餌を前におき、匙を持たせ、食餌をすくつて口に運ぶまでの動作を手をとつて教えた。一週間でこの動作は完成したが匙に入る食餌の量が少なすぎたり、途中でこぼすことが多かつたので、次の週は匙に食餌をちゃんと入れてから口にもつていくことを二、三日手をとつて教えたが之亦一週間で完成した食餌を手でつまむことを禁じたところ、次第に手の運びが慎重になり巧みになつて、一週間で完成し指導を初めてから三週間であつた。

然し一般に匙を使用しようとする者は一年半に多く、こぼさなくなる年令は二・二・五年に多い。

箸の使用について

之は既に（一年で自分で使おう、というものが二名表われ、一四ヶ月で握り箸で食べる者がいる。完成は二年にならないと表われない。

が、之も山下先生のいわれる三年を約一年短縮して保育計画の目標を變えることも出来ると考察される。然もその子供は二年でおいしいものをちぎることが出来た。

茶碗を使う

茶碗も、固形物、汁物の入つてゐるものを一年で使用するが、匙と両方をもつ子供は一年七ヶ月、箸と両方をもつて食べる子供は一年五ヶ月に表われてゐるが之などは従来の基準からみると驚くべきことである。

始末をする

食べ終つてから、食器を重ね、食事エプロンで口のまわりをふき、食器を運ぶ者は一年八ヶ月に一名、二年になると三名となりその後はどん／＼増加して、二年半には大体の者が出来るようになってゐる。

B、排尿便について

この習慣の中でパンツの着脱が一人で出来る年令は二年一ヶ月、二年三ヶ月からは次第にその数が増してゐる。紙の使用の完成は、排便後は一年八ヶ月で一名、一年一ヶ月で一名その後二年三ヶ月から増し、排便後の紙の使用は二年四ヶ月から表われ、二年七ヶ月以後次第にその数が増えている。

C、衣類の着脱について

ボタンのかけはずしも、二年から二年半、紐を結ぶことも二年三ヶ月から二年半に目標をおくことが出来る。ぬいだものの始末もきち

んとたゝめるものが二年一ヶ月で三名表われている。

D、清潔の習慣について

手を上手に洗える者は一年九ヶ月で二名、一年一〇ヶ月に七名あり二年からは次第に増加している。鼻が上手にかめる者は二年四ヶ月からその数が増え、うがいは二年一ヶ月でガラ／＼のできる者があり二年三ヶ月でブク／＼が出来る者があつて完成を二年七、八ヶ月においても差し支えない数が出ている。

歯をみがける者は二年十ヶ月で二名あり、顔を洗う者は一年八ヶ月で一名、二年三ヶ月から次第に増加している。

以上のように従来の調査よりも早い時期に基本的習慣をつけ、子供の自立の生活が余りむりなく始められることを知ることが出来た。この調査の対象となつた保育所もそれ／＼の処で自由にその指導について考え、環境を設定したもので、ある約束され、標準化された指導法によつて保育をしたわけではない。

又、特に自立完成の時期を早めようとい意識的に目標をそこにおいて特殊な保育を行つた結果を記載したものでない。そこで私達は子供の生活がどんな環境と指導の中で行われた場合に最も簡単に、最も早く自立できるかを個々の事例によつて研究し、それを普遍性のあるものにして乳児保育の計画を樹てるための基礎資料として求めていきたいと思つている。最近、同様の項目によつて相当数の三才未満児を対象として調査を行つたがまだ整理が出来ないので全然古いしかも少人数の調査で発表したことは誠に残念であるが皆さんの御批判と御指導を切に願ひする次第である。

水害お見舞申上げます

日本幼稚園協会編集部

九州幼稚園保育所のみなさまへ

社長水害見舞に出發

弊社小高社長は、この度水害を受けられた九州地方の各幼稚園、保育所をお見舞のため、七月八日お見舞品を携え、社員同道、水害地に向け出發致しました。

株式会社
フレールベル館

乳幼児の保育カリキュラムに関する研究

● 意志 ○ 千史余 ○ 自立

[illegible]

項目		要目		調査項目		子供の氏名		調査当日に於ける満年齢					
食	匙の使用	1	自分で使おうとすることがぼず										
		2	こぼすが大体一人でする										
		3	殆どこぼさず使う										
	箸の使用	1	自分で使おうとすることができない										
		2	箸の持ち方一にぎり箸でできる										
		3	殆んどきちんと持つて上手にたべる										
	茶碗の使用	1	自分で持とうとすることが出来ぬ										
2		固形物の入ったものなら持てる											
3		汁物の入ったものを持てる											
匙と茶碗の使用	1	片方を置いてならたべる											
	2	両方を持つ											
	3	片方を置いてならたべる											
箸と茶碗の使用	1	片方を置いてならたべる											
	2	両方を持つ											
	3	30分以内で終る											
食 べ 方	1	匙でおいもなどを千切る											
	2	箸でおいもなどを千切る											
あ と 始 末	1	お友達に食器をくぼる											
	2	たべ終えて食器を重ねる											
	3	口のまわりをふく											
	4	たべ終えて食器を運ぶ											
排	お む つ	1	時々教えるがおむつがとれぬ										
		2	時々失敗するがおむつはとれた										
		3	おむつがとれる										
	パ ン ツ	1	パンツを脱がうとすることが脱げない										
		2	前の紐をはずせば排泄する										
		3	大体はずせばあとは自分でする										
		4	一人ですべて出来る										
排 尿	1	全く教えない											
	2	便器入れかければする											
	3	大体教えるが時々失敗する											
	4	一人で出来る											
排 便	1	全然教えない											
	2	教えるが時々失敗する											
	3	失敗しない											
	4	紙を使用しようとする											
生活の習慣	衣類の着脱	5	紙を使うが完全でない										
		6	上手にする										
		7	便器のふたをとつてする										
		8	したあとふたをしめる										
		1	上衣やシャツをぬごうとすることができぬ										
		2	着ようとするができぬ										
		3	衣類を身にかけることが出来る										
4		すつかり着れる											
5		手傳つて鈕がかけられる											
6		鈕をはづせる											
7		紐をほどくことができる											
8	結ぶことができる												
9	ぬいだものをまとめる												
10	ぬいだものをたしもうとする												
11	きちんとたしむ												

〔基本的習慣の調査〕